

第4期 石川の教育振興基本計画 中間まとめの概要

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

第3期教育振興基本計画が5年目を迎え、震災からの復興など、この間の社会情勢の変化や新たな課題に対応するため、新計画を策定。

2 計画の位置づけ

・教育基本法に基づき、地方公共団体が定める教育の振興のための施策に関する基本的な計画

・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に規定する「大綱」として位置づけ

・石川県成長戦略の教育分野の指針

・以下の個別計画の内容も含む
⇒学校教育の情報化の推進に関する法律
⇒子どもの読書活動の推進に関する法律

3 計画の期間

令和8年度から令和12年度の5年間

第2章 社会の動向と教育をめぐる現状

- 令和6年能登半島地震、奥能登豪雨の発生
- 教育を通じてのウェルビーイングの向上
- 我が国の伝統と文化の尊重とグローバル化に対応した教育の推進
- 令和の日本型学校教育の構築
- 急速な技術革新と、AIやDXなど社会全体のデジタル化の進展
- 成年年齢の18歳への引き下げや子供の権利利益の擁護
- 誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育の推進
- 教職員の確保と学校における働き方改革の推進
- 人口減少、少子高齢化の進行と人生100年時代の到来
- 地域とのつながりの希薄化と家庭環境の変化

第3章 石川県がめざす教育の姿

1 基本理念

未来を拓く心豊かな人づくり

2 めざす人間像

- ▷ ふるさとに誇りを持ち、広い視野に立って社会に貢献する人間
- ▷ 生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- ▷ 責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- ▷ 健康や体力の増進に努める、活力ある人間

3 基本目標

9つの基本目標(後頁)を設定

4 計画の体系

第4章 施策の方針と主な取組

後頁に記載

第5章 計画の実現に向けて

- 1 計画の周知・広報
県民に対する広報、教職員に対する周知徹底
- 2 地域社会全体の連携・協働
学校での着実な実践、家庭や地域・企業や大学等との連携・協働、市町・市町教育委員会との連携
- 3 計画の進行管理
計画の点検・評価、計画の見直し

第4章 施策の方針と主な取組

基本目標

施策の方針

基本目標1

災害からの復旧復興に向けて、創造的復興教育に取り組みます

- 1-1 災害の教訓を生かした創造的復興教育の推進
- 1-2 被災地の教育環境の整備・充実
- 1-3 被災した児童生徒等の心のケアの充実

基本目標2

いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献できる人材を育成します

- 2-1 ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成
- 2-2 地域の活性化に貢献できる人材の育成
- 2-3 イノベーションを担う人材の育成
- 2-4 グローバル社会で活躍できる人材の育成

基本目標3

確かな学力や専門的な能力、職業実践力を育成します

- 3-1 確かな学力の育成
- 3-2 教育DX、GIGAスクール構想の推進による学びの質の向上
- 3-3 キャリア教育・職業教育の充実
- 3-4 幼児教育の充実

基本目標4

豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくりを推進します

- 4-1 心の教育・道徳教育の充実
- 4-2 人権教育の推進
- 4-3 主体的に社会の形成に参画する態度を育む教育の推進
- 4-4 いじめの防止等への取組の充実
- 4-5 体験活動の充実
- 4-6 文化・芸術活動を通じた豊かな感性の育成
- 4-7 児童生徒の体力・運動能力の向上
- 4-8 学校保健の充実・食育の推進
- 4-9 防災教育・安全教育の推進

基本目標

施策の方針

基本目標5

誰一人取り残されない多様な教育ニーズへの対応を推進します

- 5-1 不登校児童生徒への支援の充実
- 5-2 特別支援教育の充実とインクルーシブ教育の推進
- 5-3 特別な教育的支援が必要な児童生徒に対するサポートの充実
- 5-4 多様なニーズに応える学校づくりの推進

基本目標6

信頼される質の高い学校づくりを推進するとともに、地域の教育力の向上を目指します

- 6-1 学校の組織的な対応力の向上
- 6-2 キャリアステージに応じた「いしかわ型教員研修体制」の充実
- 6-3 次代の学校教育を担う教員志望者の確保と養成
- 6-4 学校における働き方改革の推進
- 6-5 教育環境の整備・充実
- 6-6 建学の精神を尊重した私学の振興
- 6-7 学校・家庭・地域が一体となって取り組む体制づくり
- 6-8 家庭・地域の教育力の向上

基本目標7

高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を推進します

- 7-1 高等教育機関の「学び」の環境の充実
- 7-2 高等教育機関による「地域の活性化」の推進
- 7-3 県立の2大学における人材育成・地域貢献の推進

基本目標8

生涯にわたり学び続ける環境づくりを推進します

- 8-1 生涯にわたる学習の推進
- 8-2 社会教育の奨励・振興
- 8-3 豊かな心を育む読書活動の充実（子供の読書活動の推進）

基本目標9

ライフステージに応じたスポーツ活動を充実します

- 9-1 生涯にわたるスポーツ活動の振興
- 9-2 競技スポーツの振興
- 9-3 スポーツを通じた地域活性化

基本目標ごとの「施策の方針」と「主な取組」

基本目標 1

災害からの復旧復興に向けて、創造的復興教育に取り組みます

1 災害の教訓を生かした創造的復興教育の推進

◆ 復興を担う人材の育成

- ・ 小学校・中学校・高校の各段階において、本県の文化や風土、産業をはじめ、災害の教訓を生かした創造的復興教育を推進

◆ 地域や家庭と連携した防災教育の推進

- ・ 震災遺構の見学や地域の被災者の体験談を聞く機会を継続して確保するなど、災害の教訓を生かした防災教育を充実
- ・ 地域や家庭と連携・協働した、より実践的な避難訓練を実施

◆ 奥能登地域の高校の魅力化の推進

- ・ 県教育委員会、奥能登地域の市町及び経済界、有識者からなる「奥能登高校魅力化検討ワーキンググループ」において、各高校の魅力ある学校づくりに向け、具体の施策について議論を行い、取組を推進

◆ 学校の災害対応力の向上

- ・ 学校の危機管理マニュアルの点検・改善やより実効的な防災教育を推進
- ・ 災害対応に関する専門的知識を備えた教員等を養成し、被災した学校の早期再開を支援する災害時学校支援チームを設置

2 被災地の教育環境の整備・充実

◆ 被災した学校施設等の復旧

- ・ 被災した校舎やグラウンド等の早期復旧に向け、関係機関等と連携・協力し、工事を着実に施行

◆ 遠隔授業などICTを活用した学習活動の推進

- ・ 多様な学習ニーズへの対応や児童生徒同士の学び合いの深化等を図り、質の高い学びを実現

◆ 青少年教育施設の早期復旧と教育施設としての機能回復

- ・ 青少年教育施設の本復旧工事を着実に進めるとともに、備品等の再整備を行い、青少年教育施設としての機能を回復
- ・ 海や山などでの自然体験活動を通じて、被災地の子どもたちが安心感と笑顔を取り戻せるようキャンプを開催し、心のケアと学びの機会を提供

◆ 教職員の適正な配置と勤務環境の改善

- ・ 児童生徒数の減少に伴う教職員定数の減少により、教育活動に支障が生じることのないよう、国の加配を活用するなどして教員の適正な配置を行い、きめ細かな指導や教育環境の充実を推進
- ・ 住居の被災や人事異動等による転居など、住居の確保が困難な奥能登の教員用に穴水町内に仮設宿舎を整備しているが、長距離通勤が必要となる場合もあることから、勤務校近隣での住居の確保など、教員の勤務環境を改善

3 被災した児童生徒等の心のケアの充実

◆ スクールカウンセラーの派遣

- ・ 被災した児童生徒の心のケアを図るため、各学校にスクールカウンセラーを適切に配置
- ・ 学校及びスクールカウンセラーが中心となり、医療機関などの関係機関と連携して、支援が必要な児童生徒へ対応

◆ 「こころのサポート授業」の実施

- ・ 震災に係る児童生徒の心のケアを、中長期的な視点から県内全域で計画的に実施
- ・ すべての児童生徒が、自身の心と体の変化や反応に適切に対処できるよう、セルフケアの力を育成

◆ 教職員の心のケア

- ・ メンタルヘルス相談窓口の周知や臨床心理士等の派遣事業、ストレスチェックを活用し、教職員の心身の健康管理を実施

1 ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成

- ◆ ふるさと石川に関する教材の活用推進
- ◆ 石川の文化や風土、産業などを活かしたふるさと教育の推進
- ◆ 全世代を通じたふるさと学習の推進
- ◆ 子供が伝統文化・芸術に触れる機会の充実【後掲】
- ◆ 学校における文化活動の充実【後掲】
- ◆ 県内トップスポーツチームとの交流

3 イノベーションを担う人材の育成

- ◆ 科学への関心を高める取組の推進
- ◆ 科学的スキルの獲得に向けた取組の推進
- ◆ アントレプレナーシップの涵養
- ◆ D Xの加速化に向けた取組の推進
- ◆ 探究・STEAM教育の充実【後掲】

2 地域の活性化に貢献できる人材の育成

- ◆ 地域社会の一員として主体的に参画する態度の育成
- ◆ 地域に活力を与える企画力を備えた人材の育成
- ◆ 地元企業と連携した地域産業を支える人材の育成
- ◆ 県内の企業等と連携したキャリア教育の推進
- ◆ 時代のニーズに応じた職業教育の充実【後掲】

4 グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ◆ 幅広い教養や国際的な視野の獲得
- ◆ 小・中・高等学校を通じた英語教育の充実
- ◆ 留学生や海外の学校との交流活動の推進
- ◆ 海外留学の促進
- ◆ 大学と連携した指導法の改善【後掲】

1 確かな学力の育成

- ◆ 「いしかわ学びの指針12か条（学びの12か条＋（プラス））」の推進
- ◆ 大学と連携した指導法の改善
- ◆ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- ◆ 情報活用能力の育成
- ◆ プログラミング教育の充実
- ◆ 持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた学習活動の充実
- ◆ 探究・STEAM教育の充実
- ◆ 小中一貫、中高一貫教育の充実
- ◆ 高等学校の特色に応じた取組の充実
- ◆ きめ細かな指導体制の充実
- ◆ 学校における読書活動の推進
- ◆ 新聞を活用した授業の推進

2 教育DX、GIGAスクール構想の推進による学びの質の向上

- ◆ 教育DXの推進
- ◆ 教員のICT活用指導力の向上
- ◆ 情報活用能力の育成【再掲】
- ◆ GIGAスクール構想のさらなる推進に向けた環境整備【後掲】

3 キャリア教育・職業教育の充実

- ◆ 発達の段階に応じたキャリア教育の推進
- ◆ 職場体験、インターンシップ等の体験活動の充実
- ◆ 時代のニーズに応じた職業教育の充実
- ◆ 県内の企業等と連携したキャリア教育の推進【再掲】
- ◆ 産業構造や技術革新に対応できる高等学校の環境整備【後掲】

4 幼児教育の充実

- ◆ 幼児期の発達の特性を踏まえた教育の推進
- ◆ 幼児教育と小学校教育との円滑な接続
- ◆ 幼稚園教諭・保育士・保育教諭等の研修の充実
- ◆ 乳幼児教育・保育実践に係る研究活動の支援

基本目標4

豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくりを推進します

1 心の教育・道徳教育の充実

- ◆ いしかわ版道徳教材の活用推進
- ◆ 道徳の指導方法の工夫・改善
- ◆ 学校・家庭・地域との連携による道徳教育の充実
- ◆ 家庭における読書活動の推進【後掲】
- ◆ 地域における読書活動の推進【後掲】
- ◆ 絆を深める「心の教育」の充実（心の教育推進協議会）
- ◆ 地域のボランティア活動の推進

2 人権教育の推進

- ◆ 学校教育における人権教育の推進
- ◆ 社会教育における人権教育の推進
- ◆ 教職員の人権意識の向上

3 主体的に社会の形成に参画する態度を育む教育の推進

- ◆ 子供の意見表明による主体性の育成
- ◆ 主権者として社会に参画する力の育成
- ◆ 消費者教育の推進

4 いじめ防止等の取組の充実

- ◆ いじめを見逃さない学校づくりの推進
- ◆ 生徒指導体制やカウンセリングの充実
- ◆ インターネット上のトラブルへの対応

5 体験活動の充実

- ◆ 持続可能な開発目標（SDGs）などを踏まえた体験活動の推進
- ◆ 青少年教育施設を活用した体験活動の推進
- ◆ 埋蔵文化財センターにおける文化財等を活用した体験学習の推進
- ◆ 地域資源を活かした体験的な環境教育・環境学習の推進
- ◆ 地域のボランティア活動の推進【再掲】

6 文化・芸術活動を通した豊かな感性の育成

- ◆ 子供が伝統文化・芸術に触れる機会の充実
- ◆ 学校における文化活動の充実
- ◆ 2027いしかわ総文を通した高校生の芸術文化活動の充実

7 児童生徒の体力・運動能力の向上

- ◆ 体力・運動能力調査を踏まえた取組の推進
- ◆ 運動部活動・地域クラブ活動などの活性化

8 学校保健の充実・食育の推進

- ◆ 家庭や地域と連携した健康教育の推進
- ◆ 学校における食育の推進
- ◆ ICTの利活用にあたっての健康面に関する対応
- ◆ 薬物乱用防止教育の推進

9 防災教育・安全教育の推進

- ◆ 地域や家庭と連携した防災教育の推進
- ◆ 学校における防災教育の支援
- ◆ 交通安全教育・防犯教育の推進
- ◆ 発達段階に応じた生命（いのち）の安全教育の推進

1 不登校児童生徒への支援の充実

- ◆ 不登校を生み出さない学校づくりの推進
- ◆ 不登校児童生徒への社会的自立に向けた支援
- ◆ 生徒指導体制やカウンセリングの充実【再掲】
- ◆ チーム学校の推進【後掲】

2 特別支援教育の充実とインクルーシブ教育の推進

- ◆ 個々の能力や特性に応じた指導・支援
- ◆ 教員の専門性の向上
- ◆ インクルーシブ教育の推進

3 特別な教育的支援が必要な児童生徒に対するサポートの充実

- ◆ 切れ目ない特別支援教育の推進に向けた取組
- ◆ 教員の専門性の向上
- ◆ 校内支援体制の強化
- ◆ ヤングケアラーへの支援

4 多様なニーズに応える学校づくりの推進

- ◆ 定時制・通信制高等学校の充実
- ◆ 日本語指導が必要な児童生徒等に対する支援
- ◆ 夜間中学の充実
- ◆ 高等学校の特色に応じた取組の充実【再掲】
- ◆ 社会的な支援が必要な子供たちへの支援

1 学校の組織的な対応力の向上

- ◆ チーム学校の推進
- ◆ 「3つの方針（スクール・ポリシー）」による高等学校の特色化・魅力化
- ◆ 体罰・性暴力等根絶に向けた取組の推進
- ◆ マネジメント能力を高める研修の充実
- ◆ 教職員人事評価システムの充実

2 キャリアステージに応じた「いしかわ型教員研修体制」の充実

- ◆ 県教員総合研修センターによる研修の充実
- ◆ いしかわ師範塾による指導力の向上
- ◆ 大学との連携による専門性の向上
- ◆ 教員のICT活用指導力の向上【再掲】

3 次代の学校教育を担う教員志望者の確保と養成

- ◆ 教員志望者の確保
- ◆ いしかわ師範塾の取組の充実

4 学校における働き方改革の推進

- ◆ 「学校と教師の業務の3分類」を踏まえた業務の見直し
- ◆ 部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進
- ◆ 教職員の健康及び福祉の確保に関する取組の充実
- ◆ 取組のフォローアップ

5 教育環境の整備・充実

- ◆ 学校施設の耐震化等の推進
- ◆ 学校施設の長寿命化の推進
- ◆ GIGAスクール構想のさらなる推進に向けた環境整備
- ◆ 産業構造や技術革新に対応できる高等学校の環境整備

6 建学の精神を尊重した私学の振興

- ◆ 私立学校における教育環境の維持・向上
- ◆ 私立学校における修学上の経済的負担の軽減
- ◆ 私立学校における経営の健全性の確保
- ◆ 専修・各種学校の振興

7 学校・家庭・地域が一体となって取り組む体制づくり

- ◆ 家庭教育を支援するネットワーク構築の推進
- ◆ 学校と地域の連携・協働による教育支援体制の構築
- ◆ 心の教育推進協議会の体制・活動の充実

8 家庭・地域の教育力の向上

- ◆ 親学び支援の充実
- ◆ 家庭教育相談体制の充実
- ◆ インターネット等にかかる問題への対応
- ◆ 子共の生活リズム向上への普及・啓発
- ◆ 放課後子供教室等による地域の人々との交流・学習活動の推進
- ◆ 社会教育施設を活用した地域活動の推進
- ◆ 家庭教育を支援するネットワーク構築の推進【再掲】

1 高等教育機関の「学び」の環境の充実

- ◆ 大学コンソーシアム石川と連携した多彩な学びの機会の提供
- ◆ 大学コンソーシアム石川等によるグローバル人材の育成
- ◆ 大学コンソーシアム石川と連携した学生の地元定着の促進
- ◆ 高等教育機関や国際機関との連携による学術交流の促進

2 高等教育機関による「地域の活性化」の推進

- ◆ サテライトキャンパスの推進
- ◆ 学生による能登の祭りの開催支援
- ◆ 高等教育機関や学生による地域貢献の促進

3 県立の2大学における人材育成・地域貢献の推進

- ◆ 県立看護大学での保健・医療・福祉に関する人材育成と地域貢献
- ◆ 県立大学での人材育成と、産学官が連携した研究等による地域貢献

1 生涯にわたる学習の推進

- ◆ 県民大学校・大学院における生涯学習の推進
- ◆ 生涯学習関連サービスの充実
- ◆ 障害者の生涯学習の推進
- ◆ 知の殿堂としての県立図書館の充実
- ◆ 大学コンソーシアム石川と連携した多彩な学びの機会の提供【再掲】

2 社会教育の奨励・振興

- ◆ 社会教育関係者の資質向上とネットワークづくり
- ◆ 社会教育関係団体等への支援
- ◆ 社会教育施設の機能の強化
- ◆ 県民大学校・大学院における生涯学習の推進 【再掲】

3 豊かな心を育む読書活動の充実（子供の読書活動の推進）

- ◆ 家庭における読書活動の推進
- ◆ 地域における読書活動の推進
- ◆ 学校における読書活動の推進【再掲】
- ◆ 優れた取組の奨励と優良図書の普及
- ◆ 読書活動の推進体制の整備

1 生涯にわたるスポーツ活動の振興

- ◆ 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ◆ 子供のスポーツをする機会の充実
- ◆ 女性のスポーツ活動の振興
- ◆ パラスポーツの振興
- ◆ 地域のスポーツクラブの育成と活動支援
- ◆ スポーツに関わる多様な人材の育成
- ◆ スポーツ施設の整備・充実
- ◆ スポーツに関する情報の発信

2 競技スポーツの振興

- ◆ ジュニア選手の育成と強化
- ◆ より高いレベルの選手の育成と強化
- ◆ スポーツ指導者の養成と資質向上
- ◆ 競技大会の誘致・開催
- ◆ パラアスリートの競技力向上

3 スポーツを通じた地域活性化

- ◆ スポーツを通じた交流人口の拡大
- ◆ 県内トップスポーツチーム等との連携
- ◆ オリンピック・ムーブメントの推進と大会レガシーの活用
- ◆ アーバンスポーツの振興